

小田原循環器病院 職員の新型コロナウイルス感染について

家族内感染における積極的疫学調査の対象者として、当院で透析医療に従事する臨床工学士1名がPCR検査を受けた結果、令和2年5月1日に陽性と判明し、新型コロナウイルス感染症に感染していることが確認されました。

当該職員は4月27日の起床時に発熱症状は認められず通常通りの業務を開始いたしました。同日14時頃から軽い頭痛を認めていましたが、日常業務に支障がないことから業務を遂行いたしました。しかし、帰宅後に頭痛が増強し、翌4月28日から咳症状が出現したためその日は出勤せずに自宅療養を開始、4月29日にPCR検査を受けた結果、5月1日に陽性と判明いたしました。

すでに保健所には発症2日前からの当該職員の行動歴の報告を済ませており、感染経路については、保健所から家族内感染であると認定を受けています。また、濃厚接触者、健康観察対象者について保健所と協議した結果、当該職員と濃厚接触した患者さんはおられませんでしたが、当該職員と密閉空間を共有していた3名の職員を濃厚接触者と認定し就業制限を開始、その他2名の職員を健康観察対象者といたしました。濃厚接触者と認定した3名の職員に5月1日PCR検査を実施した結果、「全員陰性」であることが確認されており、5月4日現在も就業制限を継続しております。

当該職員は、勤務中はもちろんのこと、飲食時以外は常にサージカルマスクを着用、手指衛生や適切な個人防護具を装着して業務を行っており、感染対策には万全を期していたことを確認しております。5月4日現在までに、当院で治療を受けておられる患者さん、当院職員に感染は確認されておられません。

引き続き、保健福祉事務所と連絡をとりながら、濃厚接触した職員の健康状態の確認、および健康観察対象の職員については就業制限の必要性について適切に判断し、実施してまいります。随時、患者さんやご家族、関係者の皆様方には、真摯に丁寧な情報提供を行ってまいります。そして、これまで以上に、感染対策に万全を期しながら、地域社会に責任のもてる心のもった医療の提供を継続してまいります。

当院で治療を受けている患者さんにご家族の皆様、ならびに地域住民の皆様方には、ご心配とご迷惑をおかけいたしますが、今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和2年5月4日
医療法人邦友会
小田原循環器病院
病院長 杉 薫